

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	デッサン基礎2	
科目基礎情報					
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制	コース名	なし	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	90時間
単位数	3単位	授業形態	実習		
教科書/教材	クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴム。参考書・参考資料等は授業中に指示する				
担当教員情報					
担当教員	加藤 正	実務経験の有無・職種	有・版画家		
学習目的					
<p>構図、形の取り方、空間の出し方、光と陰影の表現などデッサンの基礎をマスターすることにより、自分のイメージをより明確に表現できるようになることが学習の目的である。デッサンは、見て考え手を動かす単純作業であるが、次第次第に集中力と観察力、それに忍耐力も培われる。それらの学んだ要素をこれからの様々な創作や制作活動に活かすことができる。</p>					
到達目標					
<p>デッサンの基本的要素(構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感など)を理解する。自分の感性を素直に表現できる描写力を身につけ、今後の制作に活かせるようにする。遠近法、透視図法の理解を深める。ペン画の基本的なテクニックを身につける。自分の絵を客観的に見られるようにするとともに、ものを見る力、観察眼を養う。</p>					
教育方法等					
授業概要	鉛筆デッサンに加えて後期はペン画を取り上げる。ペン画は自分のイメージをより明確に表現できる手段のひとつである。12回目からは、これまでの学習をふまえて自由テーマでの作品制作を実施する。自分が描きたいもの、表現したいもの、得意な表現方法などを考える上での最大の機会となる。また、前期同様に毎回人物クロッキーを5分×2回行う。				
注意点	授業開始時に実技のポイントなどを説明するので遅刻厳禁。10分以上の遅刻は欠席となるので注意。クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴムは毎回持参すること。課題作品はできるだけ授業時間内で仕上げるように努力する。授業時数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	90%	課題作品の評価		
	小テスト	%			
	レポート	%			
	成果発表表 (口頭・実技)	%			
	平常点	10%	授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画(1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	遠近法、透視図法について	遠近法、透視図法についての基礎を理解する			
2回	ペン画(パターンの練習)	ペン画の基本的なパターンを理解する			
3回	校内写生(雨天順延)	ペン(ボールペン)でのスケッチに慣れる			
4回	静物、石膏像デッサン(1)	構図について理解する			
5回	静物、石膏像デッサン(2)	デッサンの基本について理解する			
6回	自画像を描く	明暗の差と質感をうまく表現できるようにする			
7回	ペン画(小物をモチーフ)	ペンでの質感の表現の仕方を理解する			
8回	ペン画(画像を見て描写[動物])(1)	ペン画での制作のプロセスを理解する			
9回	ペン画(画像を見て描写[動物])(2)	明暗の階調と質感を適切に描写する			
10回	ペン画(画像を見て描写[風景])(1)	ペン画での遠近の描き分けを理解する			
11回	ペン画(画像を見て描写[風景])(2)	描く対象物に応じた適切なペンタッチを理解する			
12回	ペン画着色(自由テーマ)(1)	色彩についての基本を理解する			
13回	ペン画着色(自由テーマ)(2)	テーマに合ったペンタッチとパターンで描く			

14回	ペン画着彩(自由テーマ)(3)	テーマに合った色彩で描く
15回	ペン画着彩(自由テーマ)(4)、発表	作品を完成させる